



①朱雀門 ②西宮 ③中央の朝堂院 ④第二次大極殿 ⑤東の朝堂院
⑥内裏 ⑦大膳職 ⑧宮内省 ⑨大蔵省 ⑩太政官 ⑪造酒司 ⑫馬寮

1 平城宮跡 世界遺産 平城京天平祭の会場!

710年から長岡京への遷都までの74年間、平城京の中心であった120haもの宮跡。朱雀門、東院庭園、宮内省、第一次大極殿などが復原されている。資料館では発掘の様子や復原模型が展示され、遺構展示館では遺構をそのまま見ることが出来る。平成30年3月に平城宮跡歴史公園「朱雀門ひろば」が開園した。

4 興福寺 世界遺産



藤原鎌足の病氣平癒を願って夫人の鏡女王が立てた山階寺が祥祥。平城遷都に伴い現在地に移転、興福寺と改める。広大な伽藍を擁し、繁栄を極めたが、明治時代の鹿火毀積で大きな影響を受けた。現在は天平伽藍の再建がすすんでおり、平成30年10月に中金堂の落慶をむかえた。

5 元興寺 世界遺産



飛鳥に建立された法興寺が平城遷都により再建され元興寺となり、平成30年には創建1300年の節目を迎えた。古代は南都七大寺の一つとして広大な寺域を誇るが衰退し、中世には浄土信仰の中心として庶民の信仰を集めた。現在、極楽堂と禅室の屋根の一部には、飛鳥・奈良時代の古代瓦が現在も葺かれている。

2 東大寺 世界遺産



聖武天皇の勅願により大仏の造立が始まり、752年には大仏開眼供養会が営まれた。天平時代の仏像を含め、国宝・重文の貴重な文化財が多数残されている。当初の大仏殿は、間口が現在の約1.5倍。東西に配置されていた七重塔の高さは100mともいわれ、本尊の盧舎那仏は「奈良の大仏さん」として親しまれている。

3 春日大社 世界遺産



御蓋山の山頂に、武甕槌命が白鹿に乗ってやって来たとき、奈良の鹿が神の使いとされるゆえんとなった。768年に社殿を造営以来、千古の森の中に朱の柱、白い壁、自然の檜皮屋根の本殿・社殿が維持され、20年毎に式年造替が行われる。昨年、御創建1250年をむかえた。

6 薬師寺 世界遺産

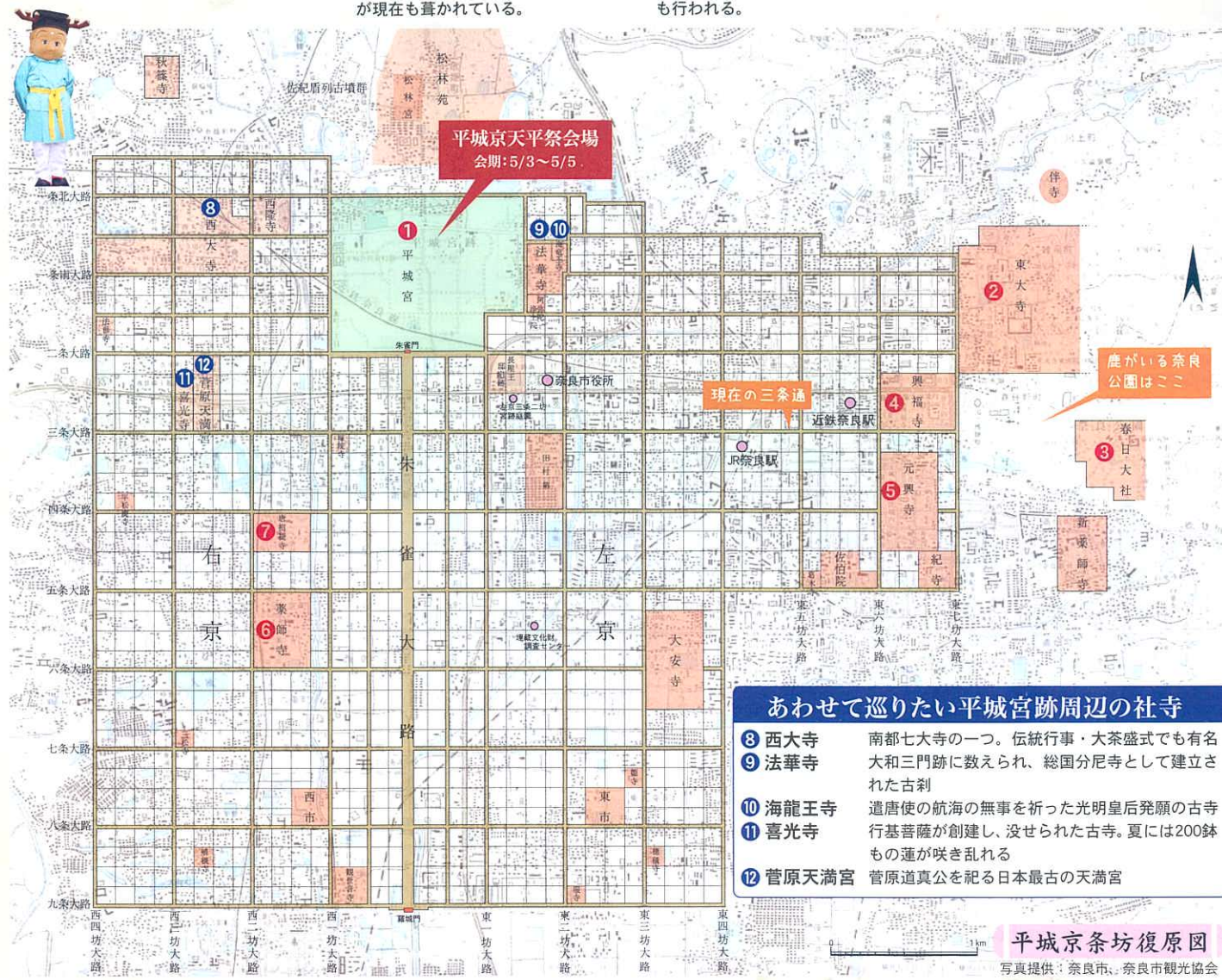


天武天皇が皇后(後の持統天皇)の病氣平癒を願って藤原京に建立。平城遷都に伴い移築された。朝廷の庇護を受け、南都七大寺として栄えたが、東塔以外はほとんど兵火により焼失。1976年以降、金堂、西塔、中門、大講堂等を再建。4月27日～5月6日の期間は国宝東塔修理作業所最終公開も行われる。

7 唐招提寺 世界遺産



735年の6度目の渡航で来日を果たした鑑真和上の寺院。奈良時代の建築である金堂、講堂、宝蔵、経蔵は現在も残り、講堂は平城宮の東の朝堂殿を移築改造したものとして知られている。鑑真和上像、盧舎那仏坐像、薬師如来立像、千手観音立像など天平彫刻の傑作も多い。



あわせて巡りたい平城宮跡周辺の杜寺

- ⑧ 西大寺 南都七大寺の一つ。伝統行事・大茶盛式でも有名。大和三門跡に数えられ、総国分尼寺として建立された古刹。
- ⑨ 法華寺 遣唐使の航海の無事を祈った光明皇后発願の古寺。行基菩薩が創建し、没せられた古寺。夏には200鉢もの蓮が咲き乱れる。
- ⑩ 海龍王寺 菅原道真公を祀る日本最古の天満宮。
- ⑪ 喜光寺
- ⑫ 菅原天満宮

平城京条坊復原図
写真提供：奈良市、奈良市観光協会

平城京天平祭

ようこそ、
春の奈良・平城京へ

新元号を
お祝いしよう!



5/5 天平こども行列
NEW EVENT 聖武天皇・光明皇后行列
5/4 天平綱引き大会

5/3 平城京天平行列
平城遷都之詔
歴代天皇と貴族たちの華やかな行列絵巻

2019 5/3(金) 祝 4(土) 祝 5(日) 祝
入場無料
会場内でのイベント一部有料

イベント来場者用の
駐車場はございません
会場へは公共交通機関をご利用ください



10:00~16:30
会場 世界遺産 平城宮跡 朱雀門ひろば

無料シャトルバス運行
JR奈良駅西口および近鉄大和西大寺駅南口から

ぐるっとバス運行
奈良公園周辺から15分間隔/100円(小学生以上)で運行
大仏殿前駐車場~近鉄奈良駅~朱雀門ひろば
詳しくは「奈良 アクセスナビ」で検索



【主催】平城京天平祭実行委員会、平城宮跡にぎわいづくり実行委員会、奈良県、奈良市
【事務局】平城京天平祭実行委員会 TEL.0742-25-0707 (平日10:00~17:00) FAX.0742-25-0710

https://tenpyosai.jp/